

令和 8 年度伊野中学校体育館屋根防水工事



附近見取図

目 次

【意匠図】		
図面番号	図名	縮尺
A-01	特記仕様書（建築改修工事編）（1）	NON
A-02	特記仕様書（建築改修工事編）（2）	NON
A-03	特記仕様書（建築改修工事編）（3）	NON
A-04	配置図	1/500
A-05	1 階平面図	1/100
A-06	2 階平面図	1/100
A-07	ギャラリー階平面図	1/100
A-08	ギャラリー階持ち出しスラブ天井伏図	1/100
A-09	屋根伏図	1/100
A-10	断面図 1（Ⅰ～Ⅰ）	1/100
A-11	断面図 2（Ⅱ～Ⅱ）	1/100
A-12	ギャラリー持ち出しスラブ屋根 詳細図	1/50

I
工事概要

1. 工事場所
吾川郡いの町1152番地（都市計画区域(内)・外)

2. 敷地面積
32,792.00㎡

3. 構造・規模
鉄筋コンクリート造(屋根：鉄骨造)2階

4. 建築面積
1,100.37(体育館のみ)㎡

5. 延床面積
1,703.44㎡

6. 主要用途
中学校体育館

II
建築改修工事仕様

1. 共通仕様

(1)
図面及び特記仕様に記載されていない事項は、全て国土交通省大臣官房官庁営繕部制定の「公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）（令和４年版）」（以下、「改修標準仕様書」という）により、改修標準仕様書に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部制定の「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）（令和４年版）」（以下、「標準仕様書」という）による。

(2)
電気設備改修工事及び機械設備改修工事を本工事に含む場合は、電気設備改修工事及び機械設備改修工事はそれぞれの工事仕様書を適用する。なお、電気設備改修工事の仕様書は()図、機械設備改修工事の仕様書は()図による。

(3)
受注者は完了検査（中間検査を含む）の検査には、特定行政庁（建築主事等）が求める検査に必要な書類等（報告書等）を用意すること。

(4)
発注者指定方式による週休２日促進工事とする。

2. 特記仕様

(1)
項目は、○印の付いたものを適用する。

(2)
特記事項は、○印の付いたものを適用する。
○印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。
○印とⓐ印の付いた場合は、共に適用する。

(3)
特記事項に記載の[]内に表示番号は、改修標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。

(4)
特記事項に記載の()内に表示番号は、標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。

(5)
Ⓔ印は、「国等による環境物品等の関連の推進等に関する法律」（以下「グリーン購入法」という）の特定調達品目を示す。判断基準は「環境物品等の調達の推進に関する基本方針（令和４年２月２５日変更閣議決定）」（環境省のホームページからダウンロード可能）による。

(6)
標準仕様書又は改修標準仕様書で「特記がなければ、」以降に具体的な材料・品質性能・工法・検査方法等を明示している場合において、それらが関係法令の改正等により（条例を含む）抵触する場合には、関係法令等の遵守[1.1.13]の規定を優先する。

1
各章共通事項

○適用基準及び区分

※建築工事監理指針（上下巻）
※建築工事標準詳細図
※鉄骨設計標準図
※鉄骨工事技術指針工場製作編工事現場施工編日本建築学会
※建設工事公衆災害防止対策要綱（建築工事等編）
※建設副産物適正処理推進要綱
※建築材料等評価名簿
※工事写真撮影ガイドブック
※建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重に対応した工法を施工計画書として提出する。
区分等
標準風速Vo=(36)m/s
積雪区分建設省告示第1455号別表（三十六）

・電気保安技術者

・適用する
・適用しない

○施工条件

施工時間帯
部位別の施工順序

・指定なし
○指定有り(荷揚・軒裏改修等、高所作業車を伴う作業)

・指定なし
○指定有り(同上)

○発生材の処理

・引き渡しを要するもの()
・特定管理産業廃棄物(種類：
処理方法：
)
・現場において再利用を図るもの()
・再生資源化を図るもの(・コンクリート塊 ・アスファルトコンクリート塊 ・建設発生木材)
※廃石膏ボード等は、原則分別再利用処理とする。

○材料の品質等

[1.4.2]
本工事に使用する材料は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するものとし、JIS及びJASマーク表示のない材料及びその製造業者等は、次の１）から６）の事項を満たすものとする
１）品質及び性能に関する試験データが整備されていること
２）生産施設及び品質の管理が適切に行われていること
３）安定的な供給が可能であること
４）法令等で定める許可、認可、認定又は免許を取得していること
５）製造又は施工の実績があり、その信頼性があること
６）販売、保守等の営業体制が整えられていること
なお、これらの材料を使用する場合は、設計図書に定める品質及び性能を有することの証明となる資料、又は外部機関が発行する資料等の写しを監督職員に提出して承諾を受けるものとする。
ただし、あらかじめ監督職員の承認を受けた場合はこの限りではない。
また、備考欄に商品名が記載された材料は、当該商品及び同等品を使用するものとし、同等品を使用する場合は監督職員の承認を受けるとする。
製材等、フローリング又は再生木質ボードを使用する場合は、グリーン購入法の基本方針の判断の基準に従い、あらかじめ、平成19年3月30日付け18高建管第881号「土木部発注工事で使用する木材の合法性の確認について（通知）」による証明書等を、監督職員に提出する。

○石綿含有建材の調査
(石綿含有建材無し)

調査
・石綿含有建材の事前調査
工事着手前に先立ち、あらかじめ関係法令に基づき、石綿含有建材の事前調査を行う。
貸与資料()
・分析による石綿含有建材の調査
分析対象
アクチノライト、アモサイト、アンソフィライト、クリソタイル、クロシドライト、トレモライト

○施工数量調査

・調査のための破壊部分の補修

○技能士

分析方法

材料名

定性分析
(JIS A 1481-1 または JIS A 1481-2)

定量分析
(JIS A 1481-3 または JIS A 1481-4)

・箇所数()
・箇所数()
・箇所数()
・箇所数()

サンプル数
採取箇所

1箇所あたり3サンプル
・図示

調査項目
調査範囲
調査方法

・防水改修
○外壁改修(軒裏)
○軒裏(図面改修記載箇所と目視により劣化していると思われるＲＤ廻り)
※テストハンマーによる打診及び目視
・図示
外壁調査は、外壁改修フロアに対する外壁面のひび割れ、浮き、欠損部、内部まで貫通したひび割れ及び雨漏りの有無についての位置及び数量(幅、長さ、面積)の調査を行う。
また、その報告書は、結果を屋根伏図等に記載し集計表を添えて監督職員に２部提出する。(必要に応じ写真等を添付する)

既存部分の破壊を行った場合の補修方法
※図示

〔1.6.2〕
〔1.6.3〕
〔1.7.2〕

工事種目

技能検定職種

技能検定作業の種類別

仮設工事

とび

防水改修工事

防水施工

・アスファルト防水工事作業
・ウレタンゴム系塗膜防水工事作業
・ポリウム系塗膜防水工事作業
・合成ゴムシート防水工事作業
○塩化ビニルシート防水工事作業
・セメント系防水工事作業
○シーリング防水工事作業
・FRP防水工事作業
・改質アスファルトシート樹脂防水工事作業
・改質アスファルトシート常温接着工法防水工事作業

建築板金

内外装板金作業

外壁改修工事

樹脂接着剤注入施工

樹脂接着剤注入工事作業

左官

左官作業

タイル張り

タイル張り作業

建具改修工事

サッシ施工

ビル用サッシ作業

ガラス施工

ガラス工事作業

自動ドア施工

自動ドア施工作業

内装改修工事

建築大工

大工工事作業

内装仕上げ施工

鋼製下地工事作業

建築板金

内外装板金作業

内装仕上げ施工

プラスチック系床仕上げ工事作業
・カーペット系床仕上げ作業
・木質系床仕上げ工事作業
・ボード仕上げ工事作業
・化粧フィルム工事作業

熱絶縁施工

吹付け硬質ウレタンフォーム断熱工事作業

塗装

壁装作業

左官

左官作業

タイル張り

タイル張り作業

塗装改修工事

塗装

建築塗装作業

耐震改修工事

鉄筋施工

鉄筋組立て作業

型枠施工

型枠工事作業

コンクリート圧送施工

コンクリート圧送工事作業

鉄工

構造物鉄工作業

とび

とび作業

環境配慮改修工事

配管

建築配管作業

路面表示施工

溶融ヘイントマーカー工事作業
・加熱ヘイントマーカー工事作業

造園

造園工事作業

施工完了時に室内空気中のホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、ステレンの濃度を測定し、報告すること
測定対象室及び測定箇所数
※図示(仕上表備考欄)
・()か所

※屋内に使用する材料は、揮発性有機化合物(VOC)の放散による健康への影響に配慮し、次の条件を満たすものとする。

対象建築材料等

使用制限

①合板、木質フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層板、MDF、パネーティクルボード、ユリア樹脂板、壁紙、緩衝材、断熱材、仕上げ塗材

F☆☆☆☆又は同等の大匠認定品とする

②塗料

ホルムアルデヒド、アトアルデヒド、ステレン、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを含有していない水性系のものとする

③木材保存剤(防菌処理、防蟻処理等)

クロトリリナス、グアイゾノン、フェノールカルブを含有しない、非有機リン系の薬剤とし、加圧式防腐・防蟻処理は工場で行い、十分乾燥した後現場搬入する

④内装用接着剤、木工用接着剤

１）ホルムアルデヒド、アトアルデヒド、ステレン、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを含有していないものとする
２）フタル酸ジ-n-propyl、フタル酸ジ-2-エチルhexilを含有しない難揮発性の可塑剤を使用しているものとする

⑤家具、書架、実験台、什器、化粧洗面台、流し台

①②③④の建築材料を使用する場合はF☆☆☆☆を基本とし、該当する材料がない場合はF☆☆☆☆は同等品を使用する

室内に関わる材料は(上記①～⑤及び建具、シール材、その他での接着剤や塗料の溶剤まで含む)については、ホルムアルデヒド、アトアルデヒド、ステレン、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、フタル酸ジ-n-propyl、フタル酸ジ-2-エチルhexil、クロトリリナス、グアイゾノン、フェノールカルブの有無または成分について一覧表に記入し、その資料を添付して提出するものとする。

○完成時の提出図書

※完成図(設計図・変更箇所を反映したもの)一式CＡＤデータ(CD-R)とも
記入内容は標準仕様書表1.7.1による。仕上表には、メカ名及び品番、色番号等を記入する。
※施工計画書(A4ファイル綴じ提出部数：１部)
※施工图(CADデータ提出部数：１部)
※保全に関する資料(提出部数 ※１部
部)

※工事写真・完成写真写真データ(CD-R)とも

区
分

分類規格

提出部数

部数

着工前及び工事中

カラー

※サービス版

工程毎

１部

完成時

カラー

※キャビン版

枚

部

・

全紙版(フル額縁入)

枚

部

・

枚

部

工事写真については、隠蔽となる部分は全て撮影すること。
デジタル写真の仕様は1適用基準及び区分の工事写真撮影ガイドブックによる。
※上記の他、完成写真内外6面程度(カラーサービス版)、及びその画像データを完成検査時に１部提出する。
※電子納品とする場合は、「高知県電子納品運用に関するガイドライン工事編」により、予め監督職員と協議を行う。

特別な材料の工法

標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法については、材料製造所の指定する工法とする。

見本施工

行う(内容)
※行わない

○施工图及び施工計画書

提出した施工图及び施工計画書の著作に係わる当該建物に限る使用权は、発注者に委譲するものとする。

設備工事との取り合い

設備機器の位置、取り付け等が検討できる施工图を提出して、監督職員の承諾を受ける。

○撤去部分

コンクリートの脆弱部は、ハンマー等で軽打撃を与えて除去し、モデルの撤去はグレイモンダー切りとする

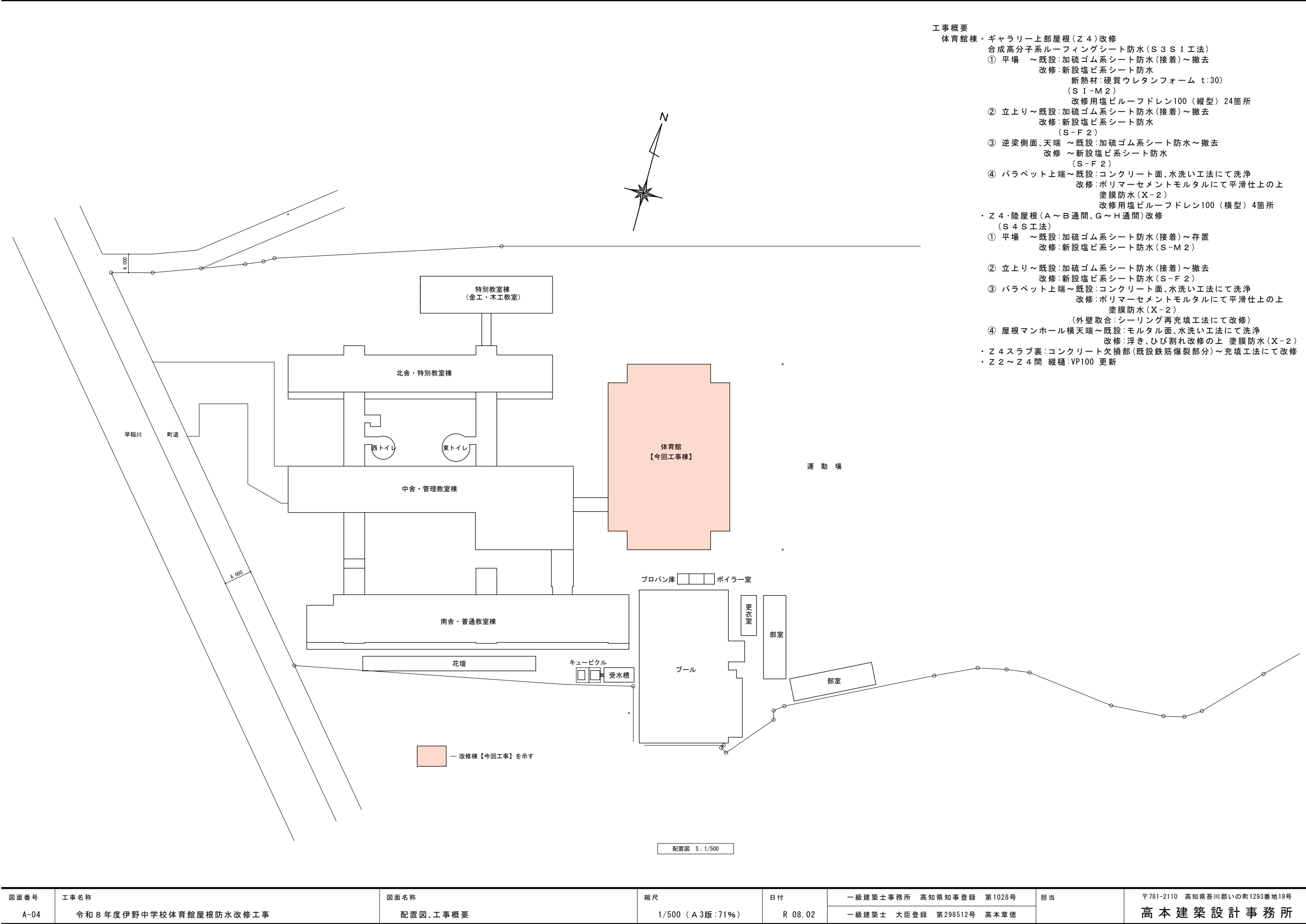
○足場等

足場を設ける場合、改修標準仕様書2.2.1によるほか、設置においては、「手すり先行工法に関するガイドライン」別紙1(手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準)における2の(2)手すり据置き方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行うこと。
外部足場に設ける防護シート等
○養生シート※JISA8952のⅠ類に適応するもの
(建築工事用シートでシートだけで落下物の危害防止に使用できるもの)
・防音シート
・採光防音シート
・養生ネット

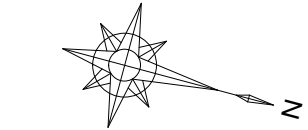
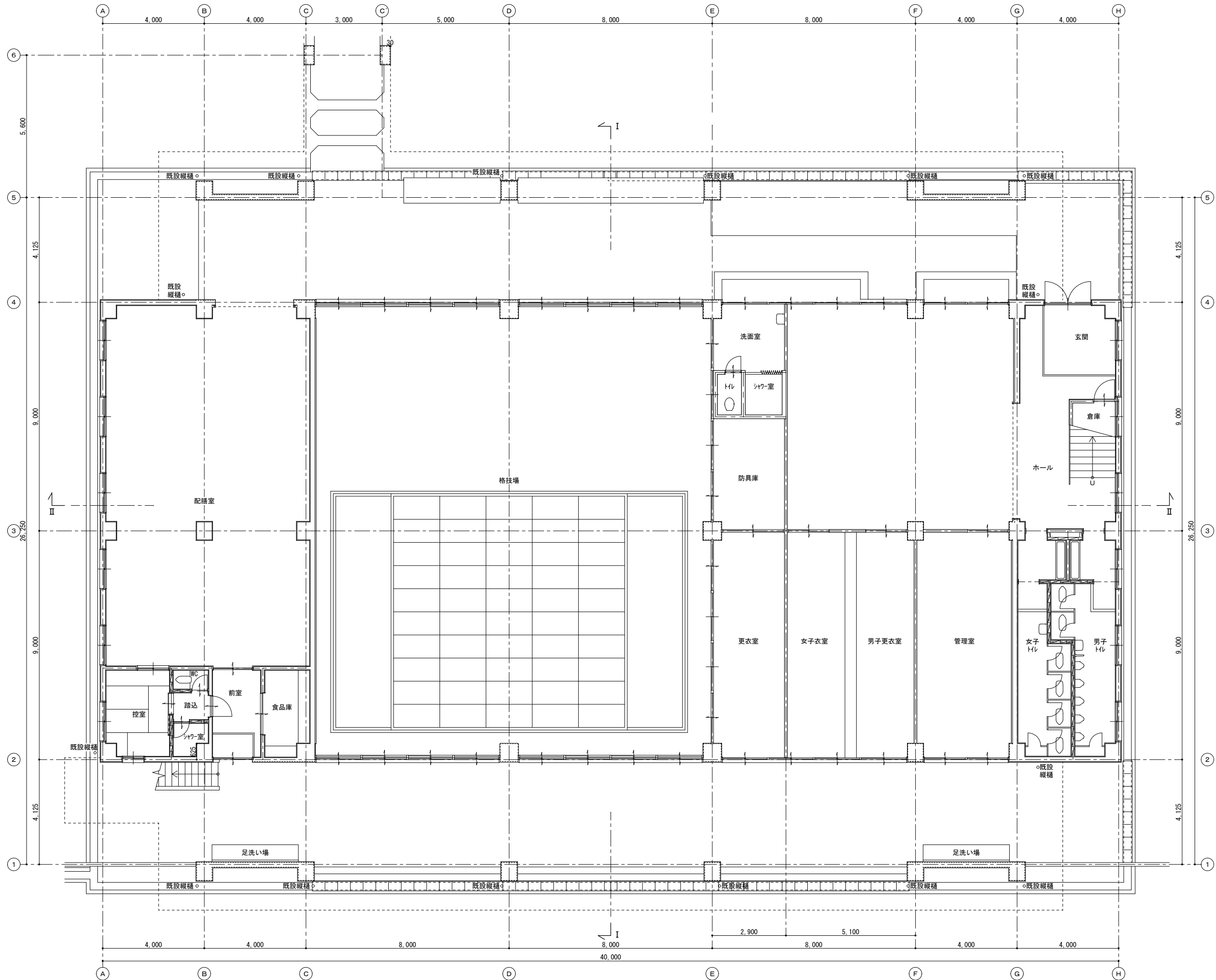
既存部分の養生

既存部分の養生方法
※ビニルシート等
・()
既存在家具等の養生方法
※ビニルシート等
・()
既存ブラインド、カーテン等の養生方法及び保管場所

3 防水改修工事	○降雨等に対する養生方法（とい共）	※改修標準仕様書3.1.3(5)(7)、(9)による ・（ ） [3.1.3]	○合成高分子系 ルーフینگシート防水	絶縁用シート ※発泡ポリエチレンシート ・（ ） 断熱材 G （S1-F1、S1-F2、S1-M1、S1-M2の場合） 種類 ・（ ） 厚さ ・25mm ・（ ） [3.5.2] [表3.1.1] [表3.5.1～2]	4-1 外壁改修工事（コンクリート打放し仕上げ外壁） ○欠損部改修工法	・ひび割れ部改修工法	※樹脂注入工法 [4.1.4] [4.2.4～7] <table><tr><th>種 類</th><th>ひび割れ幅(mm)</th><th>注入口間隔(mm)</th><th>注入量(ml/m)</th></tr><tr><td>※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法</td><td>0.2以上～1.0未満</td><td>※200～300</td><td>※130</td></tr><tr><td>・手動式エポキシ樹脂注入工法 ・機械式エポキシ樹脂注入工法</td><td>0.2以上～0.3未満 0.3以上～0.5未満 0.5以上～1.0未満</td><td>※ 50～100 ※100～200 ※150～250</td><td>※ 40 ※ 70 ※130</td></tr></table> 注入状況の確認方法 ※コア抜き検査 抜き取り部の補修方法： ※図示 ・（ ） ・Uカットシール材充填工法 ・シーリング材 充填材料 ※1成分形又は2成分形ポリウレタン系 ポリマーセメントモルタルの充填 ・行う ・可とう性エポキシ樹脂 ・シール工法 ・パテ状エポキシ樹脂 ・可とう性エポキシ樹脂 ※充填工法 ・エポキシ樹脂モルタル ○ポリマーセメントモルタル [4.1.4] [4.2.4、8]	種 類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(ml/m)	※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～1.0未満	※200～300	※130	・手動式エポキシ樹脂注入工法 ・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～0.3未満 0.3以上～0.5未満 0.5以上～1.0未満	※ 50～100 ※100～200 ※150～250	※ 40 ※ 70 ※130																									
	種 類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(ml/m)																																								
	※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～1.0未満	※200～300	※130																																								
	・手動式エポキシ樹脂注入工法 ・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～0.3未満 0.3以上～0.5未満 0.5以上～1.0未満	※ 50～100 ※100～200 ※150～250	※ 40 ※ 70 ※130																																								
	○既存防水の処理	既存保護層の撤去 ・行う（範囲・図示 ・（ ） [3.2.3、4、6] 既存防水層の撤去 ○行う（範囲○図示 ・（ ） 立上り部の防水層撤去 ○行う（・POS ・POS1 ・M4S ・M4S1 ○S4S ・S4S1） 既存露出防水層表面の仕上げ塗装の除去 ・行う（・M4AS ・M4AS1 ・M4C ・M4D1 ・L4X）	既存下地の補修箇所、範囲、数量等 ○図示 ・（ ） [3.2.6]	・S3S ・S-F1 ※1.2 ・ ※非歩行 ・カラー ・シルバー 脱気装置 ・設ける ・S-F2 ※2.0 ・ ※軽歩行 ・ ・ ・ 脱気装置 ・設ける		・M4S ・S-M1 ※1.5 ・ ※非歩行 ・カラー ・シルバー 脱気装置 ・設ける ・S-M2 ※1.5 ・ ※軽歩行 ・ ・ ・ 脱気装置 ・設ける	・POS1 ○S3S1 ・S4S1 ・M4S1 ○S1-M2 図示 ※1.2 ・ ※非歩行 ・カラー ・シルバー 脱気装置 ・設ける ※2.0 ・ ※軽歩行 ・ ・ ※1.5 ・ ※1.5 ・ 図示 ※1.5 ・	脱気装置の種類及び設置数量 ※ルーフینگシートの製造所の指定による ・（種類：、数量 個／㎡） 防湿用フィルムの設置（S1-M1、S1-M2の場合） ・適用する	屋内防水 [表3.5.3] <table><tr><th>工 法</th><th>種 別</th><th>施工箇所</th><th>備 考</th></tr><tr><td>屋内保護 密着工法</td><td>・S-C1</td><td></td><td>工程4のモルタルの塗厚 ・ mm</td></tr></table>	工 法	種 別	施工箇所	備 考	屋内保護 密着工法	・S-C1		工程4のモルタルの塗厚 ・ mm	既存防水層下地が PCコンクリート部材の場合（接着工法） 目地処理 増張り ・行う（工法） ・行う（S-F1、S1-F1の場合） [3.5.4]	○ひび割れ部改修工法	※樹脂注入工法 [4.1.4] [4.3.5～8] <table><tr><th>種 類</th><th>ひび割れ幅(mm)</th><th>注入口間隔(mm)</th><th>注入量(ml/m)</th></tr><tr><td>※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法</td><td>0.2以上～1.0未満</td><td>※200～300</td><td>※130</td></tr><tr><td>・手動式エポキシ樹脂注入工法 ・機械式エポキシ樹脂注入工法</td><td>0.2以上～0.3未満 0.3以上～0.5未満 0.5以上～1.0未満</td><td>※ 50～100 ※100～200 ※150～250</td><td>※ 40 ※ 70 ※130</td></tr></table> 注入状況の確認方法 ※コア抜き検査 抜き取り部の補修方法： ※図示 ・（ ） ・（ ） ・Uカットシール材充填工法 ・シーリング材充填 充填材料 ※1成分形又は2成分形ポリウレタン系 ポリマーセメントモルタルの充填 ・行う ・可とう性エポキシ樹脂 ・シール工法 ・パテ状エポキシ樹脂 ・可とう性エポキシ樹脂 ※充填工法 ・エポキシ樹脂モルタル ・ポリマーセメントモルタル	種 類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(ml/m)	※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～1.0未満	※200～300	※130	・手動式エポキシ樹脂注入工法 ・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～0.3未満 0.3以上～0.5未満 0.5以上～1.0未満	※ 50～100 ※100～200 ※150～250	※ 40 ※ 70 ※130												
	工 法	種 別	施工箇所	備 考																																								
	屋内保護 密着工法	・S-C1		工程4のモルタルの塗厚 ・ mm																																								
	種 類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(ml/m)																																								
	※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～1.0未満	※200～300	※130																																								
	・手動式エポキシ樹脂注入工法 ・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～0.3未満 0.3以上～0.5未満 0.5以上～1.0未満	※ 50～100 ※100～200 ※150～250	※ 40 ※ 70 ※130																																								
○既存下地の処理	既存下地の補修箇所、範囲、数量等 ○図示 ・（ ） [3.2.6]	・P2A ・A-1 ・A-2 ・A-3 ・P1B ・B-1 ・B-2 ・P2AI ・AI-1 ・AI-2 ・AI-3 ・P1BI ・BI-1 ・T1BI ・BI-2	厚さ ・25mm ・ ※フラットヤンクロス 70g/㎡程度 ・ ・ ※フラットヤンクロス 70g/㎡程度 ・ ・	・乾式保護材 ・れんが押え ・コンクリート押え	・S-C1	工程4のモルタルの塗厚 ・ mm	既存防水層下地が PCコンクリート部材の場合（接着工法） 目地処理 増張り ・行う（工法） ・行う（S-F1、S1-F1の場合） [3.5.4]	○ひび割れ部改修工法	※樹脂注入工法 [4.1.4] [4.3.5～8] <table><tr><th>種 類</th><th>ひび割れ幅(mm)</th><th>注入口間隔(mm)</th><th>注入量(ml/m)</th></tr><tr><td>※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法</td><td>0.2以上～1.0未満</td><td>※200～300</td><td>※130</td></tr><tr><td>・手動式エポキシ樹脂注入工法 ・機械式エポキシ樹脂注入工法</td><td>0.2以上～0.3未満 0.3以上～0.5未満 0.5以上～1.0未満</td><td>※ 50～100 ※100～200 ※150～250</td><td>※ 40 ※ 70 ※130</td></tr></table> 注入状況の確認方法 ※コア抜き検査 抜き取り部の補修方法： ※図示 ・（ ） ・（ ） ・Uカットシール材充填工法 ・シーリング材充填 充填材料 ※1成分形又は2成分形ポリウレタン系 ポリマーセメントモルタルの充填 ・行う ・可とう性エポキシ樹脂 ・シール工法 ・パテ状エポキシ樹脂 ・可とう性エポキシ樹脂 ※充填工法 ・エポキシ樹脂モルタル ・ポリマーセメントモルタル	種 類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(ml/m)	※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～1.0未満	※200～300	※130	・手動式エポキシ樹脂注入工法 ・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～0.3未満 0.3以上～0.5未満 0.5以上～1.0未満	※ 50～100 ※100～200 ※150～250	※ 40 ※ 70 ※130																							
種 類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(ml/m)																																									
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～1.0未満	※200～300	※130																																									
・手動式エポキシ樹脂注入工法 ・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～0.3未満 0.3以上～0.5未満 0.5以上～1.0未満	※ 50～100 ※100～200 ※150～250	※ 40 ※ 70 ※130																																									
・アスファルト防水	押え金物 ※アルミニウム製 L-30×15×2.0 (mm) ・（ ） [3.3.2]	屋根保護防水 [3.3.2～5] [表3.1.1] [表3.3.3～6] <table><tr><th>工 法</th><th>種 別</th><th>施工箇所</th><th>断熱材 G</th><th>絶縁用シート</th><th>立上り部の保護</th></tr><tr><td>・P2A</td><td>・A-1 ・A-2 ・A-3</td><td></td><td rowspan="3"></td><td rowspan="3">※ポリエチレンフィルム 厚さ0.15mm以上 又はフラットヤンクロス 70g/㎡程度 ・</td><td rowspan="3">・乾式保護材 ・れんが押え ・コンクリート押え</td></tr><tr><td>・P1B</td><td>・B-1 ・B-2</td><td></td></tr><tr><td>・P2AI</td><td>・AI-1 ・AI-2 ・AI-3</td><td></td></tr><tr><td>・P1BI ・T1BI</td><td>・BI-1 ・BI-2</td><td></td><td>厚さ ・25mm ・</td><td>※フラットヤンクロス 70g/㎡程度 ・</td><td></td></tr></table>	工 法	種 別	施工箇所	断熱材 G	絶縁用シート	立上り部の保護	・P2A	・A-1 ・A-2 ・A-3			※ポリエチレンフィルム 厚さ0.15mm以上 又はフラットヤンクロス 70g/㎡程度 ・	・乾式保護材 ・れんが押え ・コンクリート押え	・P1B	・B-1 ・B-2		・P2AI	・AI-1 ・AI-2 ・AI-3		・P1BI ・T1BI	・BI-1 ・BI-2		厚さ ・25mm ・	※フラットヤンクロス 70g/㎡程度 ・		・乾式保護材 ・れんが押え ・コンクリート押え	・S-C1	工程4のモルタルの塗厚 ・ mm	既存防水層下地が PCコンクリート部材の場合（接着工法） 目地処理 増張り ・行う（工法） ・行う（S-F1、S1-F1の場合） [3.5.4]	○ひび割れ部改修工法	※樹脂注入工法 [4.1.4] [4.3.5～8] <table><tr><th>種 類</th><th>ひび割れ幅(mm)</th><th>注入口間隔(mm)</th><th>注入量(ml/m)</th></tr><tr><td>※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法</td><td>0.2以上～1.0未満</td><td>※200～300</td><td>※130</td></tr><tr><td>・手動式エポキシ樹脂注入工法 ・機械式エポキシ樹脂注入工法</td><td>0.2以上～0.3未満 0.3以上～0.5未満 0.5以上～1.0未満</td><td>※ 50～100 ※100～200 ※150～250</td><td>※ 40 ※ 70 ※130</td></tr></table> 注入状況の確認方法 ※コア抜き検査 抜き取り部の補修方法： ※図示 ・（ ） ・（ ） ・Uカットシール材充填工法 ・シーリング材充填 充填材料 ※1成分形又は2成分形ポリウレタン系 ポリマーセメントモルタルの充填 ・行う ・可とう性エポキシ樹脂 ・シール工法 ・パテ状エポキシ樹脂 ・可とう性エポキシ樹脂 ※充填工法 ・エポキシ樹脂モルタル ・ポリマーセメントモルタル	種 類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(ml/m)	※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～1.0未満	※200～300	※130	・手動式エポキシ樹脂注入工法 ・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～0.3未満 0.3以上～0.5未満 0.5以上～1.0未満	※ 50～100 ※100～200 ※150～250	※ 40 ※ 70 ※130
工 法	種 別	施工箇所	断熱材 G	絶縁用シート	立上り部の保護																																							
・P2A	・A-1 ・A-2 ・A-3			※ポリエチレンフィルム 厚さ0.15mm以上 又はフラットヤンクロス 70g/㎡程度 ・	・乾式保護材 ・れんが押え ・コンクリート押え																																							
・P1B	・B-1 ・B-2																																											
・P2AI	・AI-1 ・AI-2 ・AI-3																																											
・P1BI ・T1BI	・BI-1 ・BI-2		厚さ ・25mm ・	※フラットヤンクロス 70g/㎡程度 ・																																								
種 類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(ml/m)																																									
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～1.0未満	※200～300	※130																																									
・手動式エポキシ樹脂注入工法 ・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～0.3未満 0.3以上～0.5未満 0.5以上～1.0未満	※ 50～100 ※100～200 ※150～250	※ 40 ※ 70 ※130																																									
・改質アスファルトシート防水	脱気装置の種類及び設置数量 ※アスファルトルーフینگ類の製造所の指定による ・（種類：、数量 個／㎡） 屋根露出防水絶縁断熱工法の場合の、ルーフレン周及び立上り部周辺の断熱材の張りじまい位置 ・（ ） ・図示	屋内防水 [3.3.2～3、5] [表3.1.1] [表3.3.10] <table><tr><th>工 法</th><th>種 別</th><th>施工箇所</th><th>備 考</th></tr><tr><td>・P1E ・P2E</td><td>・E-1（工程3・行う） ・E-2</td><td></td><td>保護層 ・設ける</td></tr></table>	工 法	種 別	施工箇所	備 考	・P1E ・P2E	・E-1（工程3・行う） ・E-2		保護層 ・設ける	・乾式保護材 ・れんが押え ・コンクリート押え	・S-C1	工程4のモルタルの塗厚 ・ mm	既存防水層下地が PCコンクリート部材の場合（接着工法） 目地処理 増張り ・行う（工法） ・行う（S-F1、S1-F1の場合） [3.5.4]	○ひび割れ部改修工法	※樹脂注入工法 [4.1.4] [4.3.5～8] <table><tr><th>種 類</th><th>ひび割れ幅(mm)</th><th>注入口間隔(mm)</th><th>注入量(ml/m)</th></tr><tr><td>※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法</td><td>0.2以上～1.0未満</td><td>※200～300</td><td>※130</td></tr><tr><td>・手動式エポキシ樹脂注入工法 ・機械式エポキシ樹脂注入工法</td><td>0.2以上～0.3未満 0.3以上～0.5未満 0.5以上～1.0未満</td><td>※ 50～100 ※100～200 ※150～250</td><td>※ 40 ※ 70 ※130</td></tr></table> 注入状況の確認方法 ※コア抜き検査 抜き取り部の補修方法： ※図示 ・（ ） ・（ ） ・Uカットシール材充填工法 ・シーリング材充填 充填材料 ※1成分形又は2成分形ポリウレタン系 ポリマーセメントモルタルの充填 ・行う ・可とう性エポキシ樹脂 ・シール工法 ・パテ状エポキシ樹脂 ・可とう性エポキシ樹脂 ※充填工法 ・エポキシ樹脂モルタル ・ポリマーセメントモルタル	種 類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(ml/m)	※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～1.0未満	※200～300	※130	・手動式エポキシ樹脂注入工法 ・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～0.3未満 0.3以上～0.5未満 0.5以上～1.0未満	※ 50～100 ※100～200 ※150～250	※ 40 ※ 70 ※130																
工 法	種 別	施工箇所	備 考																																									
・P1E ・P2E	・E-1（工程3・行う） ・E-2		保護層 ・設ける																																									
種 類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(ml/m)																																									
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～1.0未満	※200～300	※130																																									
・手動式エポキシ樹脂注入工法 ・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～0.3未満 0.3以上～0.5未満 0.5以上～1.0未満	※ 50～100 ※100～200 ※150～250	※ 40 ※ 70 ※130																																									
・改質アスファルトシート防水	脱気装置の種類及び設置数量 ※アスファルトルーフینگ類の製造所の指定による ・（種類：、数量 個／㎡） 屋根露出防水絶縁断熱工法の場合の、ルーフレン周及び立上り部周辺の断熱材の張りじまい位置 ・（ ） ・図示	屋内防水 [3.3.2～3、5] [表3.1.1] [表3.3.10] <table><tr><th>工 法</th><th>種 別</th><th>施工箇所</th><th>備 考</th></tr><tr><td>・P1E ・P2E</td><td>・E-1（工程3・行う） ・E-2</td><td></td><td>保護層 ・設ける</td></tr></table>	工 法	種 別	施工箇所	備 考	・P1E ・P2E	・E-1（工程3・行う） ・E-2		保護層 ・設ける	・乾式保護材 ・れんが押え ・コンクリート押え	・S-C1	工程4のモルタルの塗厚 ・ mm	既存防水層下地が PCコンクリート部材の場合（接着工法） 目地処理 増張り ・行う（工法） ・行う（S-F1、S1-F1の場合） [3.5.4]	○ひび割れ部改修工法	※樹脂注入工法 [4.1.4] [4.3.5～8] <table><tr><th>種 類</th><th>ひび割れ幅(mm)</th><th>注入口間隔(mm)</th><th>注入量(ml/m)</th></tr><tr><td>※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法</td><td>0.2以上～1.0未満</td><td>※200～300</td><td>※130</td></tr><tr><td>・手動式エポキシ樹脂注入工法 ・機械式エポキシ樹脂注入工法</td><td>0.2以上～0.3未満 0.3以上～0.5未満 0.5以上～1.0未満</td><td>※ 50～100 ※100～200 ※150～250</td><td>※ 40 ※ 70 ※130</td></tr></table> 注入状況の確認方法 ※コア抜き検査 抜き取り部の補修方法： ※図示 ・（ ） ・（ ） ・Uカットシール材充填工法 ・シーリング材充填 充填材料 ※1成分形又は2成分形ポリウレタン系 ポリマーセメントモルタルの充填 ・行う ・可とう性エポキシ樹脂 ・シール工法 ・パテ状エポキシ樹脂 ・可とう性エポキシ樹脂 ※充填工法 ・エポキシ樹脂モルタル ・ポリマーセメントモルタル	種 類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(ml/m)	※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～1.0未満	※200～300	※130	・手動式エポキシ樹脂注入工法 ・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～0.3未満 0.3以上～0.5未満 0.5以上～1.0未満	※ 50～100 ※100～200 ※150～250	※ 40 ※ 70 ※130																
工 法	種 別	施工箇所	備 考																																									
・P1E ・P2E	・E-1（工程3・行う） ・E-2		保護層 ・設ける																																									
種 類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(ml/m)																																									
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～1.0未満	※200～300	※130																																									
・手動式エポキシ樹脂注入工法 ・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～0.3未満 0.3以上～0.5未満 0.5以上～1.0未満	※ 50～100 ※100～200 ※150～250	※ 40 ※ 70 ※130																																									
・改質アスファルトシート防水	脱気装置の種類及び設置数量 ※アスファルトルーフینگ類の製造所の指定による ・（種類：、数量 個／㎡） 屋根露出防水絶縁断熱工法の場合の、ルーフレン周及び立上り部周辺の断熱材の張りじまい位置 ・（ ） ・図示	屋内防水 [3.3.2～3、5] [表3.1.1] [表3.3.10] <table><tr><th>工 法</th><th>種 別</th><th>施工箇所</th><th>備 考</th></tr><tr><td>・P1E ・P2E</td><td>・E-1（工程3・行う） ・E-2</td><td></td><td>保護層 ・設ける</td></tr></table>	工 法	種 別	施工箇所	備 考	・P1E ・P2E	・E-1（工程3・行う） ・E-2		保護層 ・設ける	・乾式保護材 ・れんが押え ・コンクリート押え	・S-C1	工程4のモルタルの塗厚 ・ mm	既存防水層下地が PCコンクリート部材の場合（接着工法） 目地処理 増張り ・行う（工法） ・行う（S-F1、S1-F1の場合） [3.5.4]	○ひび割れ部改修工法	※樹脂注入工法 [4.1.4] [4.3.5～8] <table><tr><th>種 類</th><th>ひび割れ幅(mm)</th><th>注入口間隔(mm)</th><th>注入量(ml/m)</th></tr><tr><td>※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法</td><td>0.2以上～1.0未満</td><td>※200～300</td><td>※130</td></tr><tr><td>・手動式エポキシ樹脂注入工法 ・機械式エポキシ樹脂注入工法</td><td>0.2以上～0.3未満 0.3以上～0.5未満 0.5以上～1.0未満</td><td>※ 50～100 ※100～200 ※150～250</td><td>※ 40 ※ 70 ※130</td></tr></table> 注入状況の確認方法 ※コア抜き検査 抜き取り部の補修方法： ※図示 ・（ ） ・（ ） ・Uカットシール材充填工法 ・シーリング材充填 充填材料 ※1成分形又は2成分形ポリウレタン系 ポリマーセメントモルタルの充填 ・行う ・可とう性エポキシ樹脂 ・シール工法 ・パテ状エポキシ樹脂 ・可とう性エポキシ樹脂 ※充填工法 ・エポキシ樹脂モルタル ・ポリマーセメントモルタル	種 類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(ml/m)	※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～1.0未満	※200～300	※130	・手動式エポキシ樹脂注入工法 ・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～0.3未満 0.3以上～0.5未満 0.5以上～1.0未満	※ 50～100 ※100～200 ※150～250	※ 40 ※ 70 ※130																
工 法	種 別	施工箇所	備 考																																									
・P1E ・P2E	・E-1（工程3・行う） ・E-2		保護層 ・設ける																																									
種 類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(ml/m)																																									
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～1.0未満	※200～300	※130																																									
・手動式エポキシ樹脂注入工法 ・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～0.3未満 0.3以上～0.5未満 0.5以上～1.0未満	※ 50～100 ※100～200 ※150～250	※ 40 ※ 70 ※130																																									
・改質アスファルトシート防水	脱気装置の種類及び設置数量 ※アスファルトルーフینگ類の製造所の指定による ・（種類：、数量 個／㎡） 屋根露出防水絶縁断熱工法の場合の、ルーフレン周及び立上り部周辺の断熱材の張りじまい位置 ・（ ） ・図示	屋内防水 [3.3.2～3、5] [表3.1.1] [表3.3.10] <table><tr><th>工 法</th><th>種 別</th><th>施工箇所</th><th>備 考</th></tr><tr><td>・P1E ・P2E</td><td>・E-1（工程3・行う） ・E-2</td><td></td><td>保護層 ・設ける</td></tr></table>	工 法	種 別	施工箇所	備 考	・P1E ・P2E	・E-1（工程3・行う） ・E-2		保護層 ・設ける	・乾式保護材 ・れんが押え ・コンクリート押え	・S-C1	工程4のモルタルの塗厚 ・ mm	既存防水層下地が PCコンクリート部材の場合（接着工法） 目地処理 増張り ・行う（工法） ・行う（S-F1、S1-F1の場合） [3.5.4]	○ひび割れ部改修工法	※樹脂注入工法 [4.1.4] [4.3.5～8] <table><tr><th>種 類</th><th>ひび割れ幅(mm)</th><th>注入口間隔(mm)</th><th>注入量(ml/m)</th></tr><tr><td>※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法</td><td>0.2以上～1.0未満</td><td>※200～300</td><td>※130</td></tr><tr><td>・手動式エポキシ樹脂注入工法 ・機械式エポキシ樹脂注入工法</td><td>0.2以上～0.3未満 0.3以上～0.5未満 0.5以上～1.0未満</td><td>※ 50～100 ※100～200 ※150～250</td><td>※ 40 ※ 70 ※130</td></tr></table> 注入状況の確認方法 ※コア抜き検査 抜き取り部の補修方法： ※図示 ・（ ） ・（ ） ・Uカットシール材充填工法 ・シーリング材充填 充填材料 ※1成分形又は2成分形ポリウレタン系 ポリマーセメントモルタルの充填 ・行う ・可とう性エポキシ樹脂 ・シール工法 ・パテ状エポキシ樹脂 ・可とう性エポキシ樹脂 ※充填工法 ・エポキシ樹脂モルタル ・ポリマーセメントモルタル	種 類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(ml/m)	※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～1.0未満	※200～300	※130	・手動式エポキシ樹脂注入工法 ・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～0.3未満 0.3以上～0.5未満 0.5以上～1.0未満	※ 50～100 ※100～200 ※150～250	※ 40 ※ 70 ※130																
工 法	種 別	施工箇所	備 考																																									
・P1E ・P2E	・E-1（工程3・行う） ・E-2		保護層 ・設ける																																									
種 類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(ml/m)																																									
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～1.0未満	※200～300	※130																																									
・手動式エポキシ樹脂注入工法 ・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～0.3未満 0.3以上～0.5未満 0.5以上～1.0未満	※ 50～100 ※100～200 ※150～250	※ 40 ※ 70 ※130																																									
・改質アスファルトシート防水	脱気装置の種類及び設置数量 ※アスファルトルーフینگ類の製造所の指定による ・（種類：、数量 個／㎡） 屋根露出防水絶縁断熱工法の場合の、ルーフレン周及び立上り部周辺の断熱材の張りじまい位置 ・（ ） ・図示	屋内防水 [3.3.2～3、5] [表3.1.1] [表3.3.10] <table><tr><th>工 法</th><th>種 別</th><th>施工箇所</th><th>備 考</th></tr><tr><td>・P1E ・P2E</td><td>・E-1（工程3・行う） ・E-2</td><td></td><td>保護層 ・設ける</td></tr></table>	工 法	種 別	施工箇所	備 考	・P1E ・P2E	・E-1（工程3・行う） ・E-2		保護層 ・設ける	・乾式保護材 ・れんが押え ・コンクリート押え	・S-C1	工程4のモルタルの塗厚 ・ mm	既存防水層下地が PCコンクリート部材の場合（接着工法） 目地処理 増張り ・行う（工法） ・行う（S-F1、S1-F1の場合） [3.5.4]	○ひび割れ部改修工法	※樹脂注入工法 [4.1.4] [4.3.5～8] <table><tr><th>種 類</th><th>ひび割れ幅(mm)</th><th>注入口間隔(mm)</th><th>注入量(ml/m)</th></tr><tr><td>※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法</td><td>0.2以上～1.0未満</td><td>※200～300</td><td>※130</td></tr><tr><td>・手動式エポキシ樹脂注入工法 ・機械式エポキシ樹脂注入工法</td><td>0.2以上～0.3未満 0.3以上～0.5未満 0.5以上～1.0未満</td><td>※ 50～100 ※100～200 ※150～250</td><td>※ 40 ※ 70 ※130</td></tr></table> 注入状況の確認方法 ※コア抜き検査 抜き取り部の補修方法： ※図示 ・（ ） ・（ ） ・Uカットシール材充填工法 ・シーリング材充填 充填材料 ※1成分形又は2成分形ポリウレタン系 ポリマーセメントモルタルの充填 ・行う ・可とう性エポキシ樹脂 ・シール工法 ・パテ状エポキシ樹脂 ・可とう性エポキシ樹脂 ※充填工法 ・エポキシ樹脂モルタル ・ポリマーセメントモルタル	種 類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(ml/m)	※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～1.0未満	※200～300	※130	・手動式エポキシ樹脂注入工法 ・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～0.3未満 0.3以上～0.5未満 0.5以上～1.0未満	※ 50～100 ※100～200 ※150～250	※ 40 ※ 70 ※130																
工 法	種 別	施工箇所	備 考																																									
・P1E ・P2E	・E-1（工程3・行う） ・E-2		保護層 ・設ける																																									
種 類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(ml/m)																																									
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～1.0未満	※200～300	※130																																									
・手動式エポキシ樹脂注入工法 ・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～0.3未満 0.3以上～0.5未満 0.5以上～1.0未満	※ 50～100 ※100～200 ※150～250	※ 40 ※ 70 ※130																																									
・改質アスファルトシート防水	脱気装置の種類及び設置数量 ※アスファルトルーフینگ類の製造所の指定による ・（種類：、数量 個／㎡） 屋根露出防水絶縁断熱工法の場合の、ルーフレン周及び立上り部周辺の断熱材の張りじまい位置 ・（ ） ・図示	屋内防水 [3.3.2～3、5] [表3.1.1] [表3.3.10] <table><tr><th>工 法</th><th>種 別</th><th>施工箇所</th><th>備 考</th></tr><tr><td>・P1E ・P2E</td><td>・E-1（工程3・行う） ・E-2</td><td></td><td>保護層 ・設ける</td></tr></table>	工 法	種 別	施工箇所	備 考	・P1E ・P2E	・E-1（工程3・行う） ・E-2		保護層 ・設ける	・乾式保護材 ・れんが押え ・コンクリート押え	・S-C1	工程4のモルタルの塗厚 ・ mm	既存防水層下地が PCコンクリート部材の場合（接着工法） 目地処理 増張り ・行う（工法） ・行う（S-F1、S1-F1の場合） [3.5.4]	○ひび割れ部改修工法	※樹脂注入工法 [4.1.4] [4.3.5～8] <table><tr><th>種 類</th><th>ひび割れ幅(mm)</th><th>注入口間隔(mm)</th><th>注入量(ml/m)</th></tr><tr><td>※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法</td><td>0.2以上～1.0未満</td><td>※200～300</td><td>※130</td></tr><tr><td>・手動式エポキシ樹脂注入工法 ・機械式エポキシ樹脂注入工法</td><td>0.2以上～0.3未満 0.3以上～0.5未満 0.5以上～1.0未満</td><td>※ 50～100 ※100～200 ※150～250</td><td>※ 40 ※ 70 ※130</td></tr></table> 注入状況の確認方法 ※コア抜き検査 抜き取り部の補修方法： ※図示 ・（ ） ・（ ） ・Uカットシール材充填工法 ・シーリング材充填 充填材料 ※1成分形又は2成分形ポリウレタン系 ポリマーセメントモルタルの充填 ・行う ・可とう性エポキシ樹脂 ・シール工法 ・パテ状エポキシ樹脂 ・可とう性エポキシ樹脂 ※充填工法 ・エポキシ樹脂モルタル ・ポリマーセメントモルタル	種 類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(ml/m)	※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～1.0未満	※200～300	※130	・手動式エポキシ樹脂注入工法 ・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～0.3未満 0.3以上～0.5未満 0.5以上～1.0未満	※ 50～100 ※100～200 ※150～250	※ 40 ※ 70 ※130																
工 法	種 別	施工箇所	備 考																																									
・P1E ・P2E	・E-1（工程3・行う） ・E-2		保護層 ・設ける																																									
種 類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(ml/m)																																									
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～1.0未満	※200～300	※130																																									
・手動式エポキシ樹脂注入工法 ・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～0.3未満 0.3以上～0.5未満 0.5以上～1.0未満	※ 50～100 ※100～200 ※150～250	※ 40 ※ 70 ※130																																									
・改質アスファルトシート防水	脱気装置の種類及び設置数量 ※アスファルトルーフینگ類の製造所の指定による ・（種類：、数量 個／㎡） 屋根露出防水絶縁断熱工法の場合の、ルーフレン周及び立上り部周辺の断熱材の張りじまい位置 ・（ ） ・図示	屋内防水 [3.3.2～3、5] [表3.1.1] [表3.3.10] <table><tr><th>工 法</th><th>種 別</th><th>施工箇所</th><th>備 考</th></tr><tr><td>・P1E ・P2E</td><td>・E-1（工程3・行う） ・E-2</td><td></td><td>保護層 ・設ける</td></tr></table>	工 法	種 別	施工箇所	備 考	・P1E ・P2E	・E-1（工程3・行う） ・E-2		保護層 ・設ける	・乾式保護材 ・れんが押え ・コンクリート押え	・S-C1	工程4のモルタルの塗厚 ・ mm	既存防水層下地が PCコンクリート部材の場合（接着工法） 目地処理 増張り ・行う（工法） ・行う（S-F1、S1-F1の場合） [3.5.4]	○ひび割れ部改修工法	※樹脂注入工法 [4.1.4] [4.3.5～8] <table><tr><th>種 類</th><th>ひび割れ幅(mm)</th><th>注入口間隔(mm)</th><th>注入量(ml/m)</th></tr><tr><td>※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法</td><td>0.2以上～1.0未満</td><td>※200～300</td><td>※130</td></tr><tr><td>・手動式エポキシ樹脂注入工法 ・機械式エポキシ樹脂注入工法</td><td>0.2以上～0.3未満 0.3以上～0.5未満 0.5以上～1.0未満</td><td>※ 50～100 ※100～200 ※150～250</td><td>※ 40 ※ 70 ※130</td></tr></table> 注入状況の確認方法 ※コア抜き検査 抜き取り部の補修方法： ※図示 ・（ ） ・（ ） ・Uカットシール材充填工法 ・シーリング材充填 充填材料 ※1成分形又は2成分形ポリウレタン系 ポリマーセメントモルタルの充填 ・行う ・可とう性エポキシ樹脂 ・シール工法 ・パテ状エポキシ樹脂 ・可とう性エポキシ樹脂 ※充填工法 ・エポキシ樹脂モルタル ・ポリマーセメントモルタル	種 類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(ml/m)	※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～1.0未満	※200～300	※130	・手動式エポキシ樹脂注入工法 ・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～0.3未満 0.3以上～0.5未満 0.5以上～1.0未満	※ 50～100 ※100～200 ※150～250	※ 40 ※ 70 ※130																
工 法	種 別	施工箇所	備 考																																									
・P1E ・P2E	・E-1（工程3・行う） ・E-2		保護層 ・設ける																																									
種 類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(ml/m)																																									
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～1.0未満	※200～300	※130																																									
・手動式エポキシ樹脂注入工法 ・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～0.3未満 0.3以上～0.5未満 0.5以上～1.0未満	※ 50～100 ※100～200 ※150～250	※ 40 ※ 70 ※130																																									
・改質アスファルトシート防水	脱気装置の種類及び設置数量 ※アスファルトルーフینگ類の製造所の指定による ・（種類：、数量 個／㎡） 屋根露出防水絶縁断熱工法の場合の、ルーフレン周及び立上り部周辺の断熱材の張りじまい位置 ・（ ） ・図示	屋内防水 [3.3.2～3、5] [表3.1.1] [表3.3.10] <table><tr><th>工 法</th><th>種 別</th><th>施工箇所</th><th>備 考</th></tr><tr><td>・P1E ・P2E</td><td>・E-1（工程3・行う） ・E-2</td><td></td><td>保護層 ・設ける</td></tr></table>	工 法	種 別	施工箇所	備 考	・P1E ・P2E	・E-1（工程3・行う） ・E-2		保護層 ・設ける	・乾式保護材 ・れんが押え ・コンクリート押え	・S-C1	工程4のモルタルの塗厚 ・ mm	既存防水層下地が PCコンクリート部材の場合（接着工法） 目地処理 増張り ・行う（工法） ・行う（S-F1、S1-F1の場合） [3.5.4]	○ひび割れ部改修工法	※樹脂注入工法 [4.1.4] [4.3.5～8] <table><tr><th>種 類</th><th>ひび割れ幅(mm)</th><th>注入口間隔(mm)</th><th>注入量(ml/m)</th></tr><tr><td>※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法</td><td>0.2以上～1.0未満</td><td>※200～300</td><td>※130</td></tr><tr><td>・手動式エポキシ樹脂注入工法 ・機械式エポキシ樹脂注入工法</td><td>0.2以上～0.3未満 0.3以上～0.5未満 0.5以上～1.0未満</td><td>※ 50～100 ※100～200 ※150～250</td><td>※ 40 ※ 70 ※130</td></tr></table> 注入状況の確認方法 ※コア抜き検査 抜き取り部の補修方法： ※図示 ・（ ） ・（ ） ・Uカットシール材充填工法 ・シーリング材充填 充填材料 ※1成分形又は2成分形ポリウレタン系 ポリマーセメントモルタルの充填 ・行う ・可とう性エポキシ樹脂 ・シール工法 ・パテ状エポキシ樹脂 ・可とう性エポキシ樹脂 ※充填工法 ・エポキシ樹脂モルタル ・ポリマーセメントモルタル	種 類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(ml/m)	※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～1.0未満	※200～300	※130	・手動式エポキシ樹脂注入工法 ・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～0.3未満 0.3以上～0.5未満 0.5以上～1.0未満	※ 50～100 ※100～200 ※150～250	※ 40 ※ 70 ※130																
工 法	種 別	施工箇所	備 考																																									
・P1E ・P2E	・E-1（工程3・行う） ・E-2		保護層 ・設ける																																									
種 類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(ml/m)																																									
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～1.0未満	※200～300	※130																																									
・手動式エポキシ樹脂注入工法 ・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～0.3未満 0.3以上～0.5未満 0.5以上～1.0未満	※ 50～100 ※100～200 ※150～250	※ 40 ※ 70 ※130																																									
・改質アスファルトシート防水	脱気装置の種類及び設置数量 ※アスファルトルーフینگ類の製造所の指定による ・（種類：、数量 個／㎡） 屋根露出防水絶縁断熱工法の場合の、ルーフレン周及び立上り部周辺の断熱材の張りじまい位置 ・（ ） ・図示	屋内防水 [3.3.2～3、5] [表3.1.1] [表3.3.10] <table><tr><th>工 法</th><th>種 別</th><th>施工箇所</th><th>備 考</th></tr><tr><td>・P1E ・P2E</td><td>・E-1（工程3・行う） ・E-2</td><td></td><td>保護層 ・設ける</td></tr></table>	工 法	種 別	施工箇所	備 考	・P1E ・P2E	・E-1（工程3・行う） ・E-2		保護層 ・設ける	・乾式保護材 ・れんが押え ・コンクリート押え	・S-C1	工程4のモルタルの塗厚 ・ mm	既存防水層下地が PCコンクリート部材の場合（接着工法） 目地処理 増張り ・行う（工法） ・行う（S-F1、S1-F1の場合） [3.5.4]	○ひび割れ部改修工法	※樹脂注入工法 [4.1.4] [4.3.5～8] <table><tr><th>種 類</th><th>ひび割れ幅(mm)</th><th>注入口間隔(mm)</th><th>注入量(ml/m)</th></tr><tr><td>※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法</td><td>0.2以上～1.0未満</td><td>※200～300</td><td>※130</td></tr><tr><td>・手動式エポキシ樹脂注入工法 ・機械式エポキシ樹脂注入工法</td><td>0.2以上～0.3未満 0.3以上～0.5未満 0.5以上～1.0未満</td><td>※ 50～100 ※100～200 ※150～250</td><td>※ 40 ※ 70 ※130</td></tr></table> 注入状況の確認方法 ※コア抜き検査 抜き取り部の補修方法： ※図示 ・（ ） ・（ ） ・Uカットシール材充填工法 ・シーリング材充填 充填材料 ※1成分形又は2成分形ポリウレタン系 ポリマーセメントモルタルの充填 ・行う ・可とう性エポキシ樹脂 ・シール工法 ・パテ状エポキシ樹脂 ・可とう性エポキシ樹脂 ※充填工法 ・エポキシ樹脂モルタル ・ポリマーセメントモルタル	種 類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(ml/m)	※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～1.0未満	※200～300	※130	・手動式エポキシ樹脂注入工法 ・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～0.3未満 0.3以上～0.5未満 0.5以上～1.0未満	※ 50～100 ※100～200 ※150～250	※ 40 ※ 70 ※130																
工 法	種 別	施工箇所	備 考																																									
・P1E ・P2E	・E-1（工程3・行う） ・E-2		保護層 ・設ける																																									
種 類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(ml/m)																																									
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～1.0未満	※200～300	※130																																									
・手動式エポキシ樹脂注入工法 ・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～0.3未満 0.3以上～0.5未満 0.5以上～1.0未満	※ 50～100 ※100～200 ※150～250	※ 40 ※ 70 ※130																																									
・改質アスファルトシート防水	脱気装置の種類及び設置数量 ※アスファルトルーフینگ類の製造所の指定による ・（種類：、数量 個／㎡） 屋根露出防水絶縁断熱工法の場合の、ルーフレン周及び立上り部周辺の断熱材の張りじまい位置 ・（ ） ・図示	屋内防水 [3.3.2～3、5] [表3.1.1] [表3.3.10] <table><tr><th>工 法</th><th>種 別</th><th>施工箇所</th><th>備 考</th></tr><tr><td>・P1E ・P2E</td><td>・E-1（工程3・行う） ・E-2</td><td></td><td>保護層 ・設ける</td></tr></table>	工 法	種 別	施工箇所	備 考	・P1E ・P2E	・E-1（工程3・行う） ・E-2		保護層 ・設ける	・乾式保護材 ・れんが押え ・コンクリート押え	・S-C1	工程4のモルタルの塗厚 ・ mm	既存防水層下地が PCコンクリート部材の場合（接着工法） 目地処理 増張り ・行う（工法） ・行う（S-F1、S1-F1の場合） [3.5.4]	○ひび割れ部改修工法	※樹脂注入工法 [4.1.4] [4.3.5～8] <table><tr><th>種 類</th><th>ひび割れ幅(mm)</th><th>注入口間隔(mm)</th><th>注入量(ml/m)</th></tr><tr><td>※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法</td><td>0.2以上～1.0未満</td><td>※200～300</td><td>※130</td></tr><tr><td>・手動式エポキシ樹脂注入工法 ・機械式エポキシ樹脂注入工法</td><td>0.2以上～0.3未満 0.3以上～0.5未満 0.5以上～1.0未満</td><td>※ 50～100 ※100～200 ※150～250</td><td>※ 40 ※ 70 ※130</td></tr></table> 注入状況の確認方法 ※コア抜き検査 抜き取り部の補修方法： ※図示 ・（ ） ・（ ） ・Uカットシール材充填工法 ・シーリング材充填 充填材料 ※1成分形又は2成分形ポリウレタン系 ポリマーセメントモルタルの充填 ・行う ・可とう性エポキシ樹脂 ・シール工法 ・パテ状エポキシ樹脂 ・可とう性エポキシ樹脂 ※充填工法 ・エポキシ樹脂モルタル ・ポリマーセメントモルタル	種 類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(ml/m)	※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～1.0未満	※200～300	※130	・手動式エポキシ樹脂注入工法 ・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～0.3未満 0.3以上～0.5未満 0.5以上～1.0未満	※ 50～100 ※100～200 ※150～250	※ 40 ※ 70 ※130																
工 法	種 別	施工箇所	備 考																																									
・P1E ・P2E	・E-1（工程3・行う） ・E-2		保護層 ・設ける																																									
種 類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(ml/m)																																									
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～1.0未満	※200～300	※130																																									
・手動式エポキシ樹脂注入工法 ・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～0.3未満 0.3以上～0.5未満 0.5以上～1.0未満	※ 50～100 ※100～200 ※150～250	※ 40 ※ 70 ※130																																									
・改質アスファルトシート防水	脱気装置の種類及び設置数量 ※アスファルトルーフینگ類の製造所の指定による ・（種類：、数量 個／㎡） 屋根露出防水絶縁断熱工法の場合の、ルーフレン周及び立上り部周辺の断熱材の張りじまい位置 ・（ ） ・図示	屋内防水 [3.3.2～3、5] [表3.1.1] [表3.3.10] <table><tr><th>工 法</th><th>種 別</th><th>施工箇所</th><th>備 考</th></tr><tr><td>・P1E ・P2E</td><td>・E-1（工程3・行う） ・E-2</td><td></td><td>保護層 ・設ける</td></tr></table>	工 法	種 別	施工箇所	備 考	・P1E ・P2E	・E-1（工程3・行う） ・E-2		保護層 ・設ける	・乾式保護材 ・れんが押え ・コンクリート押え	・S-C1	工程4のモルタルの塗厚 ・ mm	既存防水層下地が PCコンクリート部材の場合（接着工法） 目地処理 増張り ・行う（工法） ・行う（S-F1、S1-F1の場合） [3.5.4]	○ひび割れ部改修工法	※樹脂注入工法 [4.1.4] [4.3.5～8] <table><tr><th>種 類</th><th>ひび割れ幅(mm)</th><th>注入口間隔(mm)</th><th>注入量(ml/m)</th></tr><tr><td>※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法</td><td>0.2以上～1.0未満</td><td>※200～300</td><td>※130</td></tr><tr><td>・手動式エポキシ樹脂注入工法 ・機械式エポキシ樹脂注入工法</td><td>0.2以上～0.3未満 0.3以上～0.5未満 0.5以上～1.0未満</td><td>※ 50～100 ※100～200 ※150～250</td><td>※ 40 ※ 70 ※130</td></tr></table> 注入状況の確認方法 ※コア抜き検査 抜き取り部の補修方法： ※図示 ・（ ） ・（ ） ・Uカットシール材充填工法 ・シーリング材充填 充填材料 ※1成分形又は2成分形ポリウレタン系 ポリマーセメントモルタルの充填 ・行う ・可とう性エポキシ樹脂 ・シール工法 ・パテ状エポキシ樹脂 ・可とう性エポキシ樹脂 ※充填工法 ・エポキシ樹脂モルタル ・ポリマーセメントモルタル	種 類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(ml/m)	※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～1.0未満	※200～300	※130	・手動式エポキシ樹脂注入工法 ・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～0.3未満 0.3以上～0.5未満 0.5以上～1.0未満	※ 50～100 ※100～200 ※150～250	※ 40 ※ 70 ※130																
工 法	種 別	施工箇所	備 考																																									
・P1E ・P2E	・E-1（工程3・行う） ・E-2		保護層 ・設ける																																									
種 類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(ml/m)																																									
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～1.0未満	※200～300	※130																																									
・手動式エポキシ樹脂注入工法 ・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～0.3未満 0.3以上～0.5未満 0.5以上～1.0未満	※ 50～100 ※100～200 ※150～250	※ 40 ※ 70 ※130																																									
・改質アスファルトシート防水	脱気装置の種類及び設置数量 ※アスファルトルーフینگ類の製造所の指定による ・（種類：、数量 個／㎡） 屋根露出防水絶縁断熱工法の場合の、ルーフレン周及び立上り部周辺の断熱材の張りじまい位置 ・（ ） ・図示	屋内防水 [3.3.2～3、5] [表3.1.1] [表3.3.10] <table><tr><th>工 法</th><th>種 別</th><th>施工箇所</th><th>備 考</th></tr><tr><td>・P1E ・P2E</td><td>・E-1（工程3・行う） ・E-2</td><td></td><td>保護層 ・設ける</td></tr></table>	工 法	種 別	施工箇所	備 考	・P1E ・P2E	・E-1（工程3・行う） ・E-2		保護層 ・設ける	・乾式保護材 ・れんが押え ・コンクリート押え																																	
工 法	種 別	施工箇所	備 考																																									
・P1E ・P2E	・E-1（工程3・行う） ・E-2		保護層 ・設ける																																									



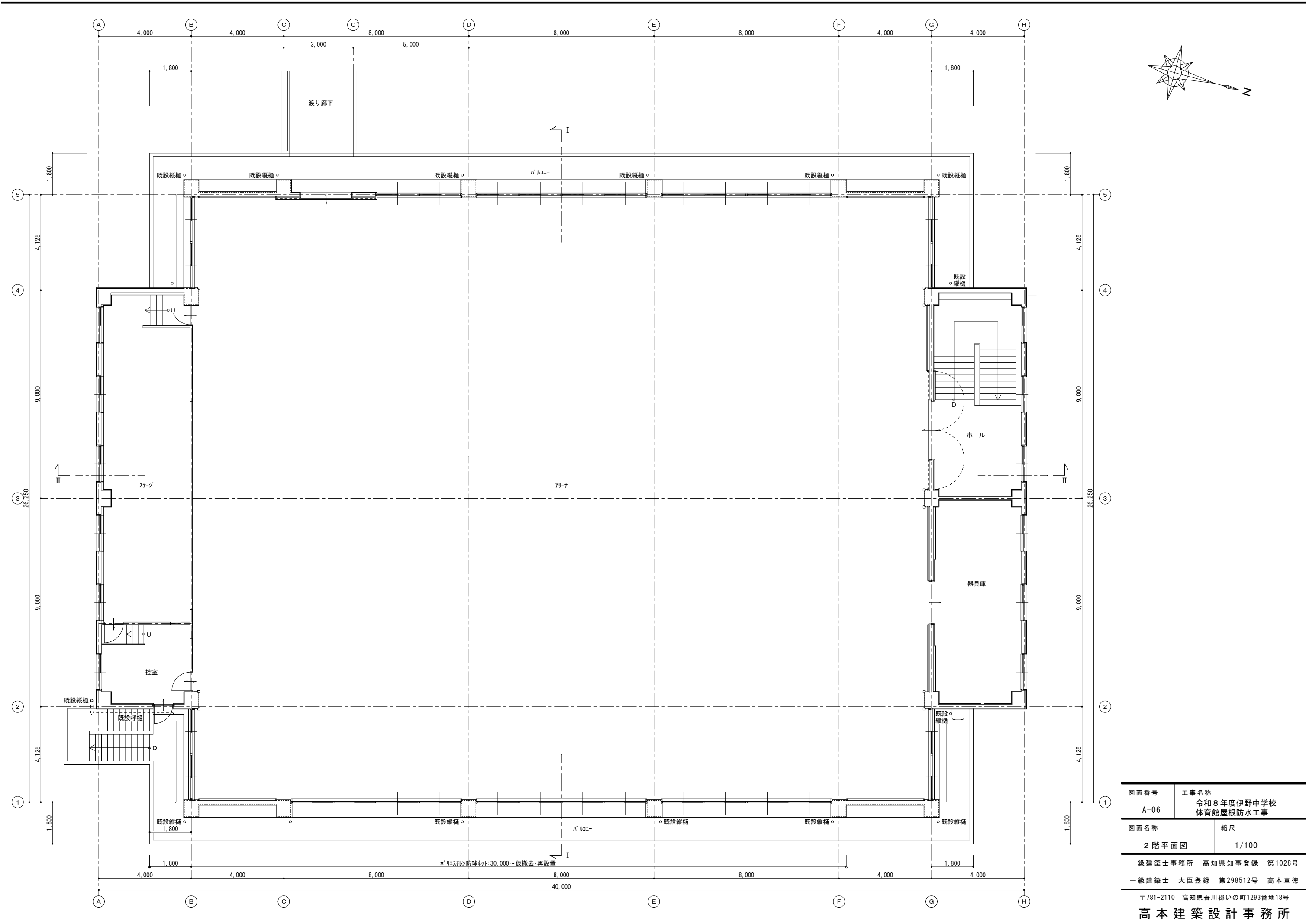
図面番号	工事名称	図面名称	縮尺	日付	一級建築士事務所 高知県知事登録 第1028号	担当	〒781-2110 高知県吾川郡いの町1293番地18号
A-04	令和8年度伊野中学校体育館屋根防水改修工事	配置図、工事概要	1/500（A3版：71%）	R 08.02	一級建築士 大臣登録 第298512号 高本章徳		高本建築設計事務所



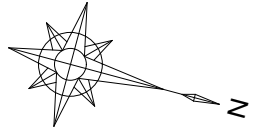
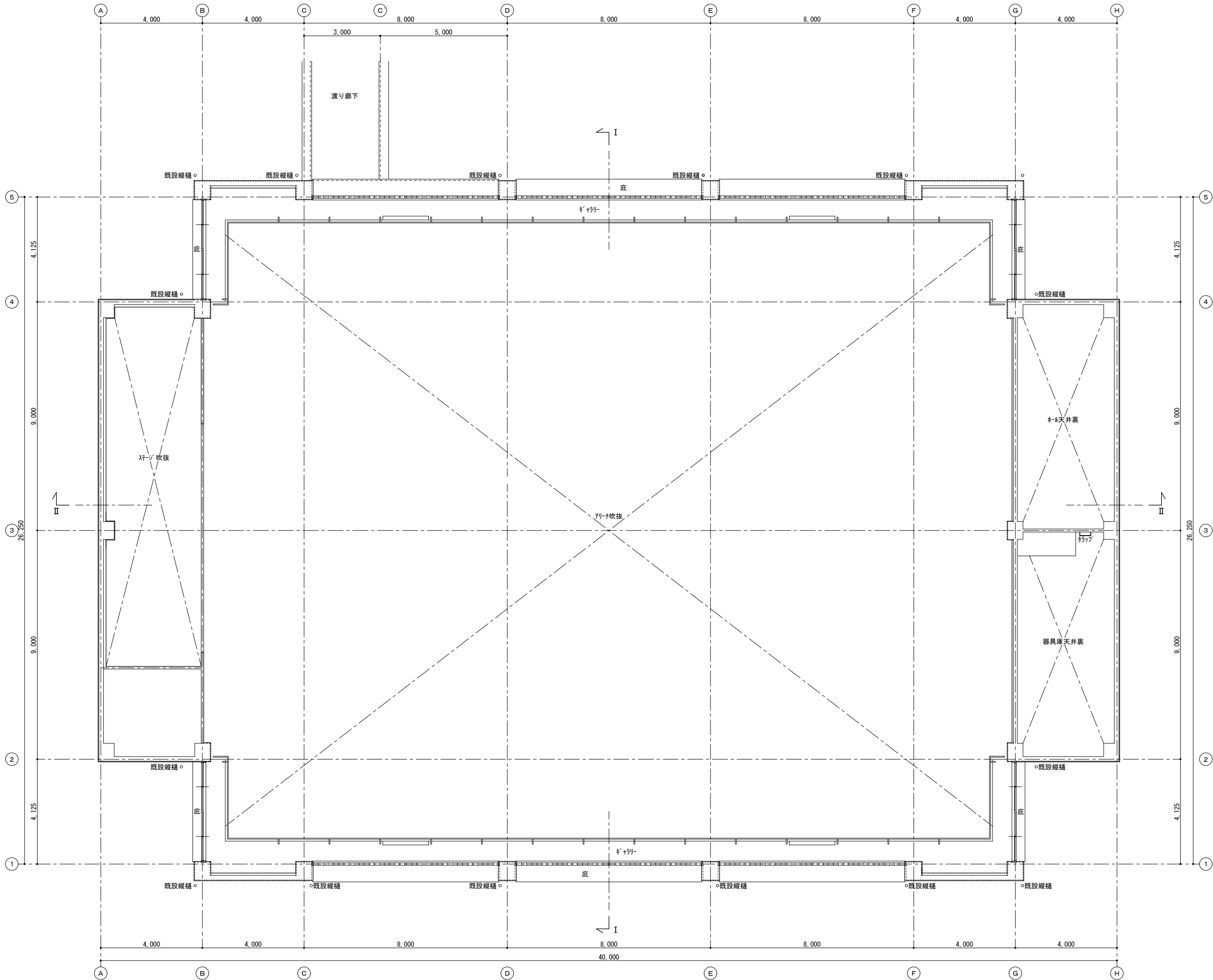
図面番号	工事名称
A-05	令和8年度伊野中学校 体育館屋根防水工事
図面名称	縮尺
1階平面図	1/100

一級建築士事務所 高知県知事登録 第1028号
一級建築士 大臣登録 第298512号 高本章徳
〒781-2110 高知県香川郡いの町1293番地18号

高本建築設計事務所

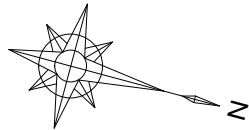
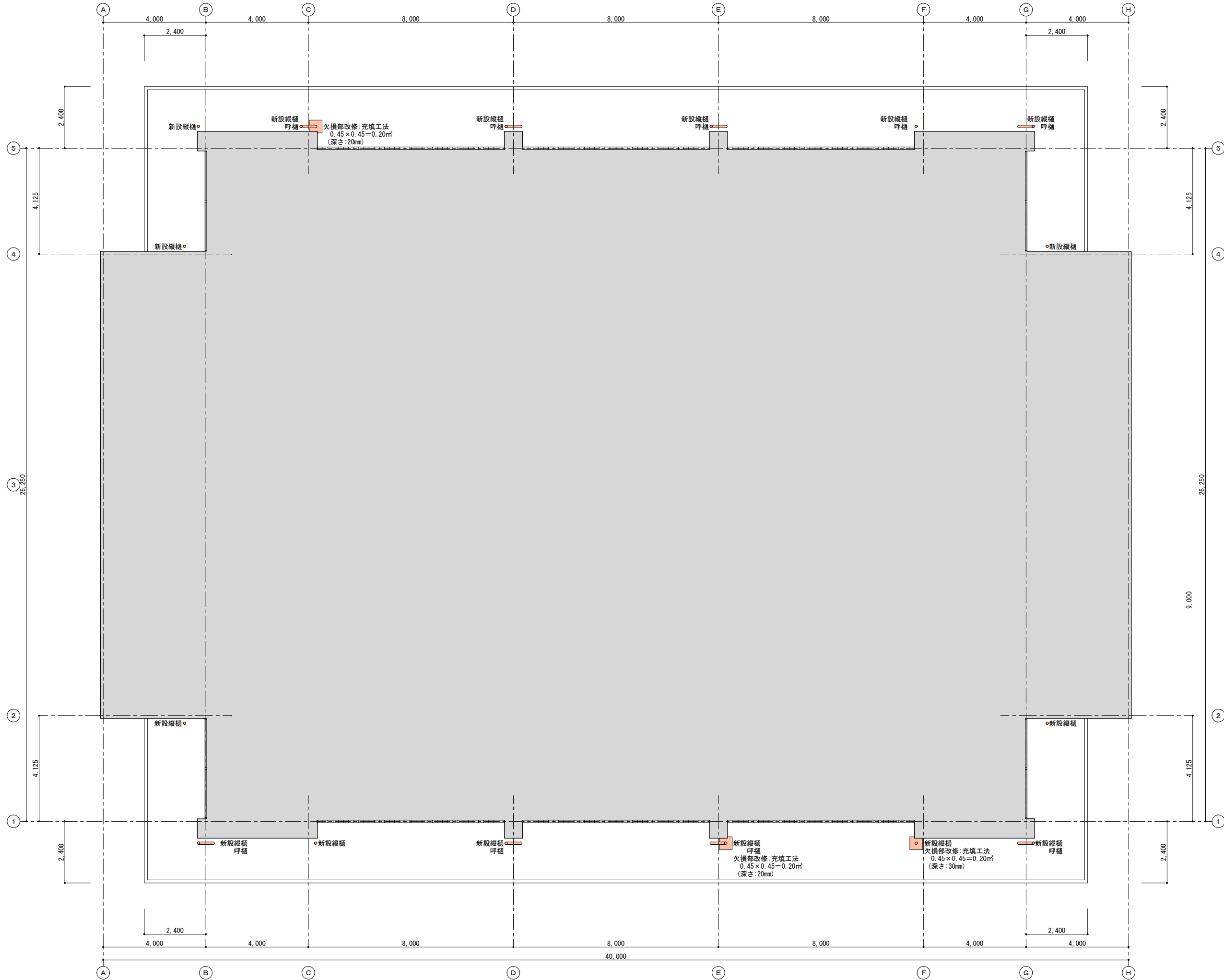


図面番号	工事名称
A-06	令和8年度伊野中学校 体育館屋根防水工事
図面名称	縮尺
2階平面図	1/100
一級建築士事務所 高知県知事登録 第1028号	
一級建築士 大臣登録 第298512号 高本章徳	
〒781-2110 高知県香川郡いの町1293番地18号	
高本建築設計事務所	



凡 例
改修範囲(縦樋)を示す

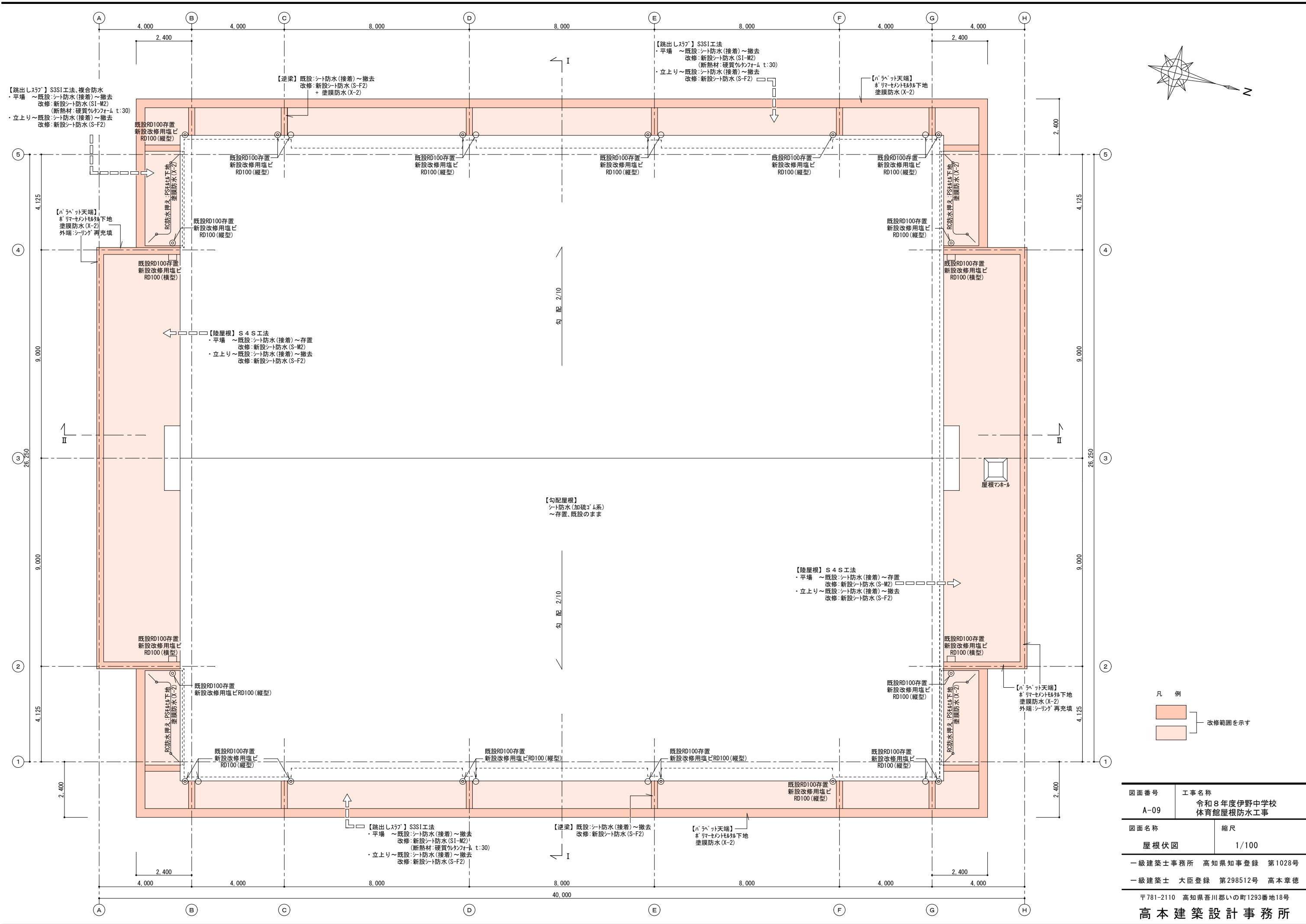
図面番号 A-07	工事名称 令和8年度伊野中学校 体育館屋根防水工事
図面名称 ギャラリー階 平面図	縮尺 1/100
一級建築士事務所 高知県知事登録 第1028号	
一級建築士 大臣登録 第298512号 高本章徳	
〒781-2110 高知県香川郡いの町1293番地18号	
高本建築設計事務所	



凡 例

改修範囲を示す

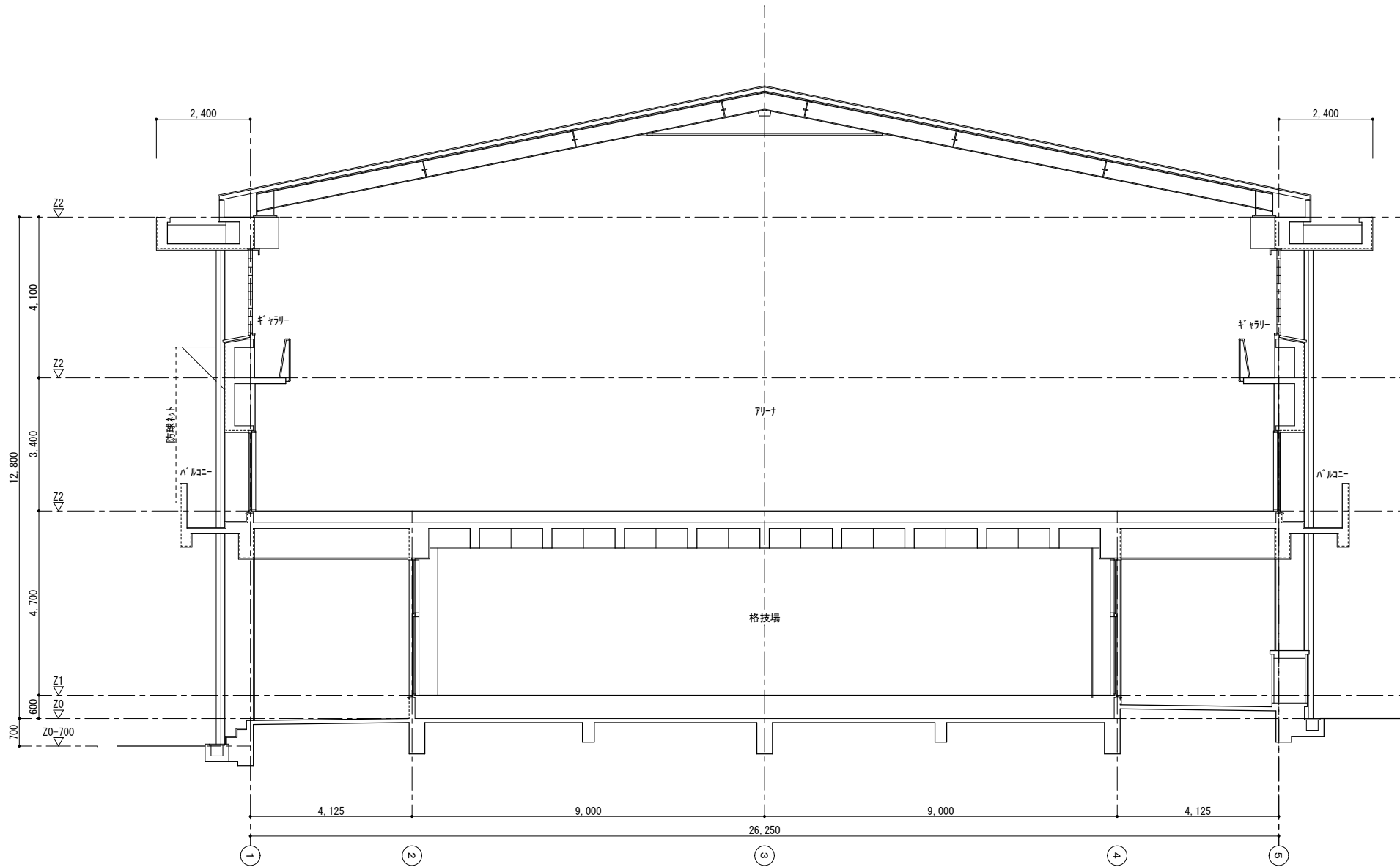
図面番号	工事名称
A-08	令和8年度伊野中学校 体育館屋根防水工事
図面名称	縮尺
ギャラリー階 持ち出しスラブ 天井伏図	1/100
一級建築士事務所	高知県知事登録 第1028号
一級建築士	大臣登録 第298512号 高本章徳
〒781-2110 高知県香川郡いの町1293番地18号	
高本建築設計事務所	



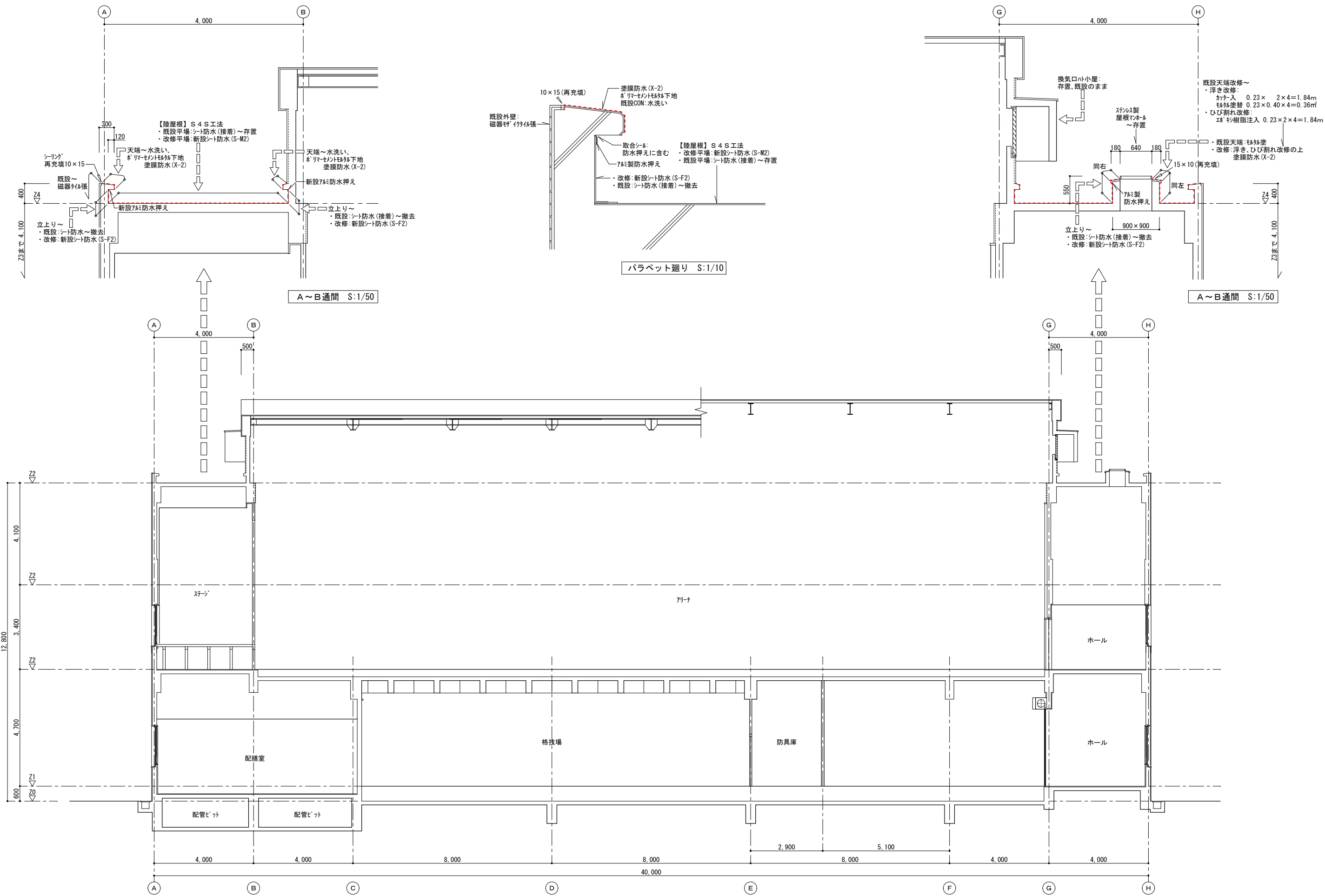
凡 例

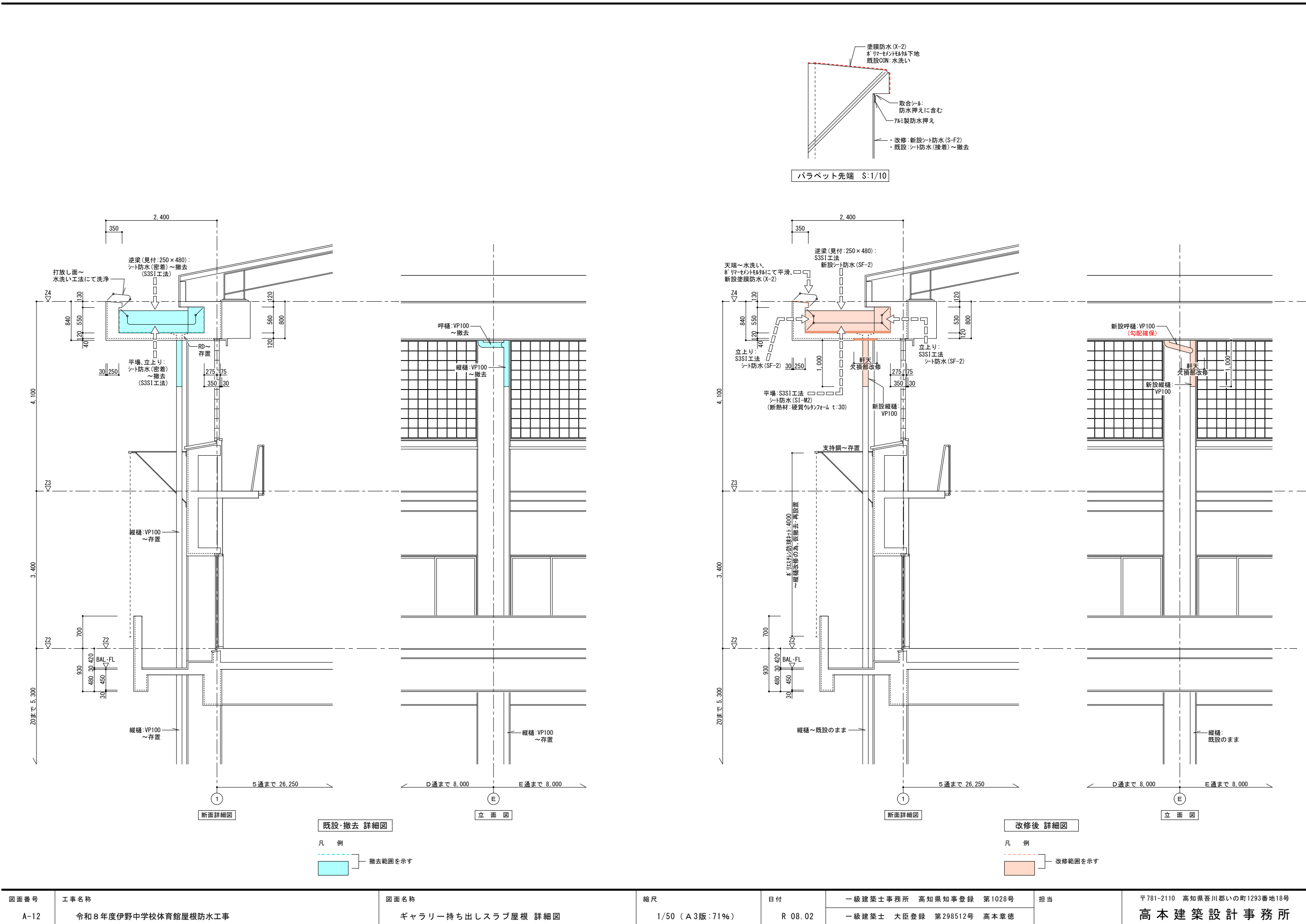
改修範囲を示す

図面番号	工事名称
A-09	令和8年度伊野中学校 体育館屋根防水工事
図面名称	縮尺
屋根伏図	1/100
一級建築士事務所 高知県知事登録 第1028号	
一級建築士 大臣登録 第298512号 高本章徳	
〒781-2110 高知県香川郡いの町1293番地18号	
高本建築設計事務所	



図面番号	工事名称	図面名称	縮尺	日付	一級建築士事務所 高知県知事登録 第1028号	担当	〒781-2110 高知県吾川郡いの町1293番地18号
A-10	令和8年度伊野中学校体育館屋根防水工事	断面図 1 (I ~ I)	1/100 (A3版:71%)	R 08.02	一級建築士 大臣登録 第298512号 高本章徳		高本建築設計事務所





図面番号	工事名称	図面名称	縮尺	日付	一級建築士事務所 高知県知事登録 第1028号 一級建築士 大臣登録 第298512号 高本章徳	担当	〒781-2110 高知県香川郡いの町1293番地18号 高本建築設計事務所
A-12	令和8年度伊野中学校体育館屋根防水工事	ギャラリー持ち出しスラブ屋根 詳細図	1/50 (A3版:71%)	R 08.02			